

静岡県言語・聴覚・発達障害教育研究会

会報

第514号

発行日 平成28年6月25日

担当 袋井市立袋井東小学校
LD等通級指導教室

〒437-0021

袋井市広岡2317番地の1

TEL 0538-42-2345

FAX 0538-43-2306

教育精神 “刮目”

本校は明治5年6月25日、私立「用行義塾」として創立され、同12年公立小学「刮目舎」と改称されました。以来幾多の変遷を経て昭和33年11月1日、袋井市立袋井東小学校となって現在に至ります。今年度創立144年目となる大変歴史のある学校です。この「刮目舎」の由来となったのは、



「士別三日 即当刮目相待」
しわか みっか すなわ さら かつもく あいたい
(士別れて三日なれば即ち当に刮目して相待すべし)

という三國志の中に出てくる言葉で、「優れた人物というものは、暫く会わないでいると、その間に大きな進歩を遂げているものなので、次に会ったときにはよく目を凝らして見直さなければならない。」という意味です。また“刮目”を辞書で引くと、「目をこすってよく見ること。注意して見ること。」という意味が出ています。

本校では、目をこすことは、既成概念を捨て、心の目で見ると感じることを考え、「まなこも、心の目も見開いてじっくり見ること」と押さえています。

教育精神 “刮目” のおさえ… 「物事の本質を見抜く目（力）をもつこと」

これは、児童が、友達の良さを見つける力、自分を振り返り自らを知る力、時と場から善悪の判断をする力等を身に付けることを意味しています。また、教師が、常に成長を遂げている子供を見取る力、時代の流れや変化を読む力、地域や保護者の思いや願いを感じ取る力等を身に付けることも意味しています。

この「刮目教育」の伝統の上に立って、今年度は学校教育目標を、

「自分づくり」に進んで挑戦する子 〈キーワード 自主・自立・自信〉
～よりよい自分をつくっていくための自信と実践力の育成～

とし、夢や希望、目標をもち、「自分で」「自分から」「自信をもって」力いっぱい取り組み、努力したり、振り返ったりしながら、自分の心情や態度、行動の仕方をよりよい方向に高めていこうとする子ども、向かうべき方向へ、自分を仲間とともに高めようとしている子どもを育てようと、全職員で教育活動に取り組んでいます。



教室紹介

袋井東小学校LD等通級指導教室「なないろ」は、開設8年目を迎えました。袋井市内（12小学校）に1教室、担当者は一人です。

今年度は、8校から20名（自校6名含む）の児童が通級しています。週に1回または2回、基本的に個別指導を行っていますが、社会性やコミュニケーションに苦手さをもっている児童には、ペア活動や3～4人のグループ活動を取り入れています。

～1年間の主な予定～

4月	学校訪問（通級指導説明）	9月	在籍校訪問
5月	在籍校訪問	11月	指導公開
6月	指導公開	12月	お楽しみ会 保護者会
7月	お楽しみ会 保護者会	3月	お楽しみ会

保護者会 ～なないろ会～

保護者会を年に2回行っています。堅苦しいものではなく、保護者同士で日頃の悩みを気軽に話す場として設けています。

関係機関と連携し、いろいろな立場の方から話を聞くこともあります。これまでに、袋井市相談機関「子ども支援室『ぬっく』」の相談員やスクールカウンセラーに参加を要請したり、昨年と一昨年は、高学年の児童が多かったため、中学校の先生に参加していただいたりしました。

今年7月の保護者会には、昨年まで通級し、今年から中学生になったお子さんのお母さん方に参加していただき、退級後の支援場所や中学校でのクラスでの支援の様子等について、話をさせていただく予定です。

<質問内容>

- ・宿題の量は、考慮してもらえますか。
- ・障害のある子の進路先について教えてください。 など



お楽しみ会

お楽しみ会を学期に1回計画しています。制作活動やグループ対抗ゲームを取り入れ、普段の通級指導教室での学習を、少し広げた学習の場として行っています。

今年第1回目のお楽しみ会では、「お絵かき風鈴」を作ったり、ことば集めゲームをしたりする予定です。

～話す&聞く～



自己紹介や感想発表



ゲーム（友達ビンゴ）

～制作活動～



スライム



クリスマスリース

～グループ対抗ゲーム～



まとあて



パズル



教材紹介

言葉に関するもの



もじぴったん



さかさまデッキ



どちらの方向

手先の器用さに関するもの



ホップステップ



サッカーゲーム



マールすくい

手作りしたもの



魚釣り



ジャンボオセロ